

特集1

2024 年度中部支部研究集会報告

内山秀樹（静岡大学）、大西浩次（国立長野高専）、
衣笠健三（東京大学木曽観測所）、野寺凜（黒部市吉田科学館）

2024 年度の中部支部研究集会は、2025 年 3 月 22 日（土）10:00 から 15:00 までオンラインにて開催しました。

招待講演として、2023 年 9 月に打ち上げられ、研究成果が最近公表され始めている日本の最新鋭 X 線天文衛星 XRISM について、宇宙航空研究開発機構（JAXA）宇宙科学研究所（ISAS）の特任助教（現宮崎大学 助教）鈴木寛大さんにお話をいただきました。加えて、7 件の一般講演がありました。いずれでも活発な議論が行われました。各講演タイトルを当日の講演順に以下に示します。

- [一般講演 1]「スマート望遠鏡 Seestar を使用した中学生を対象とする科学教室形式での実践：太陽観測による 1 日の長さの測定」小林成吾（静岡大学）
- [一般講演 2]「重力多体系における重力レンズ効果」中村太一（愛知教育大学）
- [一般講演 3]「個別支援級における天文分野の教育」竹澤寛亮（横浜市立神大寺小学校）
- [一般講演 4]「アステリズム・ミーティング～全国の民間天文活動の活性化と継承を目指して～」今西康平（アステリズム・ミーティング、天文教育普及研究会関東支部、府中市郷土の森博物館天文ボランティア）
- [一般講演 5]「『すざく』WEB 解析ツールを使った宇宙年齢の測定とその教材化」望月建男（静岡大学）
- [招待講演]「X 線天文衛星 XRISM が明らかにする宇宙の高エネルギー現象」鈴木寛大氏（宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究所）

- [一般講演 6]「東京大学木曽観測所 50 周年と長野県内での記念観望会」衣笠健三（東京大学木曽観測所）
- [一般講演 7]「小型コンピュータ M5 シリーズの理科教育利用～天文分野へ利用を目指して～」榎谷峻（静岡大学）

合計で 31 名の方に参加申し込みをいただきました。オンラインでしたが、Zoom のホワイトボード機能を使った自己紹介（図 1）や、ブレイクアウトルーム機能を使った少人数での議論・雑談も行うことで、参加者間の交流の機会としました。ご参加の皆さま、どうもありがとうございました。



図 1 Zoom ホワイトボードによる自己紹介

内山 秀樹